

# [第 150 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 5月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 6 月 1 日 (土) 15時~17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」  
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.37~  
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2024年5月11日(土)、第149回藤樹人間学塾を開きました。今回は、京都からの参加者を入れて7名でした。

## ■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

## ■ あらすじ

今回から熊沢蕃山に入りますが、最初は蕃山についての伊東多三郎氏の解説文(前半)を皆で読む。(1)蕃山と藤樹学、(2)蕃山と陽明学

## ■ 配布資料

(1)「まなざし 468号」、(2)田中真澄「人生百年時代を生きる」(致知)、(3)勝田茅生「ヴィクトール・フランクル(第1回)」(NHK こころの時代)、(4)横田南嶺「願力深重」(致知)

## ■ 今日のポイント

(1)蕃山と藤樹学…①蕃山は藤樹と出会って学問に開眼し、藤樹の死後その子らの面倒を見た。②蕃山の学問・思想は藤樹学によって啓発されるところが多かった。しかし師の死後蕃山の学境は拡大し、心境が拡大すると藤樹学を乗り越え、一家の見識を打ち立てる姿勢を示し、藤樹学派から排斥された。③しかし蕃山は「大道の実義」を究めて藤樹の志を継述する信念があった。④蕃山は心学を基として、経世済民の事業を目指した。

(2)蕃山と陽明学…(略)

(3)人生にはきっと何かの意味がある。人生はきっとあなたのことを待っている。だから苦しくてもそこから逃げてはいけない。(フランクル)→人生が逆境の時の参考

## ■ フリートーク

- ・「藤樹と蕃山の考えに違いがあることが分かった」→そのよって立つ位置によって自ずから変わってくる。蕃山は経済的に困窮した環境で育ったので、政治・経済を重視したのだと思う。
- ・「フランクルの『夜と霧』を読んだ。ナチスの強制収容所の極限の状況を生き抜いた氏は自分をしっかり持っていた。そして自分を苦しめた人を責めない姿勢は、なかなか真似できないが、目指すべき方向だと思う」
- ・「6年間中国に住んでいたが、中国ではよその子でも悪いことをすれば叱っていた。バスで席を譲るのは当たり前になっていた。今の日本人はそれに倣う必要がある」

等の意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

